

## 10月の全校集会 「読書 いいね」ービブリオバトルー

10月10日(火)、後期始業式に引き続き、全校集会を行いました。

本離れが進む時代、本校では図書館の充実を図っています。そこで、読書の秋にふさわしく、今月のテーマは「読書 いいね」としました。ただ読書をすすめるのではなく、本の面白さを伝えるために今回は、全校生徒の前でミニビブリオバトルを実践してみました。

校長先生が、今月のテーマである「読書 いいね」を説明した後は、司書の岡田先生から「ビブリオバトル」の説明がありました。生徒たちは初めて聞く言葉だったようですし、多くの先生たちも言葉は知っていてもどんなふうにするのかは知りませんでした。

「ビブリオとは書籍などの意味です」

と聞き、ビブリオバトルが「本の争い」であることも理解できました。そこで、早速発表者の3人の先生が登場します。まず、3分間で自分のおすすめ本の紹介をします。その本への思いや自分の体験も交えて熱い3分間のメッセージでした。その後には生徒からの質問に答えます。

「その本を読むのにどれくらい時間がかかりましたか？」

「先生の青春って？」

「AIが発達すると僕たちの仕事はどうなるんですか？」

「2046年には解決しているのですか？」

などいろいろな質問が飛び出しました。そして、3人の先生たちもその質問に誠意を込めて答えていました。次は本日のチャンプ本を決める投票ですが、この日は生徒たちの拍手で勝敗を決めました。僅差ではありましたが、一番大きな拍手を得たのは下平先生が推薦した「13歳のシーズン」でした。

ミニビブリオバトルの全校集会後の生徒たちの声です。

「僕的には(内容が)徳丸先生の話がよかった」

「初めてみたビブリオバトル、青春物の本がいいので、下平先生やな」

「庫田先生の本は、難しそう！でも興味がわいた」

3人の先生たちの思いは生徒たちにも伝わっていました。このビブリオバトルが本を読む機会になることを願っています。



**ミニプレゼンバトルルール**

- ①おすすめ本1冊を紹介
- ②ひとひ3分間
- ③発表後、質問タイム
- ④読みたい本に投票

